タダノサービス情報〈ラフテレーンクレーン〉

SV57－010

ホイールナット緩みの定期点検について

タイヤホイールとハブを連結しているホイールナットの緩みの有無について定期的な点検が必要です。
ホイールナットが緩んだ状態で走行すると、ホイールボルトの折損やホイールの亀裂などにより、タイヤホイール脱落等の重大事故を引き起こすことがあります。
必ず、定期的にホイールナットの緩み点検を行ってください。

《点検項目》

ホイールナットの緩みを点検し、緩みがあれば規定トルクで増し締めをしてください。

《点検時期》

300時間又は3ヶ月毎
※厳しい使われ方（シビアコンディション）の場合は、点検期間を早めてください。

《タイヤホイールの脱着要項》

タイヤのローテーション等で脱着作業を行う際は、以下の点についてご注意願います。

○次の部位に汚れや塗料の付着がないか確認し、充分清掃してください。
・ホイールナットとホイールボルトのネジ部
・ホイールナットの球面部とホイールの合せ面、およびホイールとハブの取付け面

○ホイールナット,ホイールボルトおよびホイールに変形や亀裂がないか点検してください。
異常があった場合は、必ず交換してください。　※ナットとボルトは、セットで交換してください。

○ホイールボルトのネジ部およびホイールナットの球面部にトルク係数安定剤またはグリースを塗布してください。
※グリースは、当社指定のダフニーエポネックスEP No.2 相当品をご使用ください。
注意:二硫化モリブデン入りオイル・グリースは使用禁止です。

○ホイールナットを2～3回に分けて少しづつ仮締めしてください。

○ホイールナットを対角線上に交互に規定トルクで締め付けてください。(表1、図2参照)

○タイヤ交換して約50km走行後にホイールナットの緩みを点検し、緩みがあれば規定トルクで増し締めしてください。
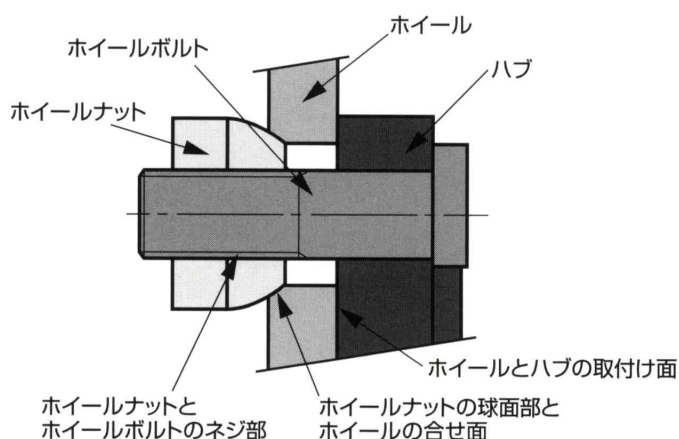
図1.ホイール取付部詳細

表1.ホイールナット数と規定トルク一覧

機種	ホイールナット数	締付けトルク
GR-120N-1	8	490～590N･m (50～60kgf･m)
TR-160M-3	12	
TR-200M-5	12	
GR-250N-1	12	
GR-300N-1	12	
GR-350N-1	12	
GR-500N-1	23	
GR-600N-1	23	

※上表以外の機種は取扱説明書を参照願います。

図2.ホイールナット締付け順序

※上記は、ホイールナット12個の場合を記載しております。
その他の機種は、取扱説明書を参照願います。

ご用命は右記サービス工場へ

株式会社 タダノ
サービス部作成